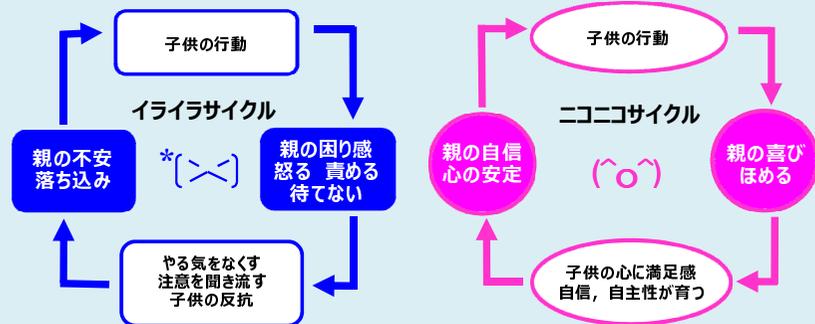


参考資料2

親子のコミュニケーションサイクル



2つのコミュニケーションサイクル、「ニコニコサイクル」になるポイントは何？

参考資料3

親子のコミュニケーションに生かしてみたいはかがですか。

- 子供が自分で考えたり試したりしている時は、見守るようにしてみましょう。自ら行動する力につながるようです。
- 困っている時は、「○○したらどうかな」と子供が判断できるように働きかけるのもいいですね。
- 「この色ステキだね」「この形いいね」など具体的なポイントをメッセージで伝えましょう。
- 少しでもうまくいったときは、当たり前と思わずに「頭をなでる」「ちょっと抱っこ」など、肌の触れ合いなどでしっかりほめてあげましょう。

「やりきった」と思えると自分で行動する意欲につながるね。
親は子供が自分で考え、やり遂げられるよう見守ることが大切だニャー。



学習を振り返りましょう

自分の中で、なるほど感じたこと、これからやってみたいと思うことなど、心に残っていることについて、振り返ってみましょう。

「親プロ」親子コミュニケーション応援編に関するお問い合わせはこちらから

広島県立生涯学習センター

TEL : 082-248-8848 FAX : 082-248-8840

E-mail : sgcshinkou@pref.hiroshima.lg.jp



あなたに役立つ情報をお届けしています。
家庭教育支援のページ「親子コミひろしま」

<http://www.facebook.com/h.edu.kateikyouri>



指示より 支持してみよう



子供と接する中で「困ったなあ」「言うことをきいてくれないなあ」と思ったことはありませんか。そこには親の思い込みや、子供との気持ちのズレがあるのかも…。

子供への接し方のちょっとしたコツやポイントをつかんで、子供に伝わりやすい、親も気持ちよく話ができるコミュニケーションの方法について一緒に考えてみましょう。

